



特定非営利活動法人  
ケア・センターやわらぎ

# 事業報告書

---

平成30年度

平成30年4月1日～平成31年3月31日



平成30年度 **事業報告書**  
(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

**事業概要**

**1 やわらぎ・立川事業所**

- ◇介護保険事業
  - ・訪問介護★
  - ・認知症対応型通所介護（定員10名）★
- ◇その他事業
  - ・立川市地域健康づくり  
グループ支援事業
  - ・学校介助員事業
- ◇研修事業
  - ・介護職員初任者研修

**2 やわらぎホーム・西立川事業所**

- ◇介護保険事業
  - ・認知症対応型共同生活介護  
(定員18名)
  - ・短期入所生活介護 (定員20名)
  - ・通所介護 (定員23名)
  - ・訪問介護

**3 やわらぎ・国分寺事業所**

- ◇介護保険事業
  - ・訪問介護★
  - ・居宅介護支援★
  - ・認知症対応型通所介護（定員12名）★

**4 やわらぎ・阿佐谷事業所**

- ◇介護保険事業
  - ・地域密着型通所介護（定員10名）
- ◇事業企画部

**5 法人本部**

- ◇管理業務
  - ・理事会等の運営
  - ・総務・広報
  - ・経理・会計、請求業務
  - ・労務・人事

★ ISO9001認証取得事業所

**目次**

ごあいさつ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2

ケア・センターやわらぎがめざすもの・・・2  
ケア・センターやわらぎがとりにくんだこと・・・2

やわらぎ・立川事業所・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

やわらぎホーム・西立川事業所・・・・・・・・・・・・ 7

やわらぎ・国分寺事業所・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13

やわらぎ・阿佐谷事業所・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 17

法人本部・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 20

**MAP**



## ごあいさつ

平成30年度活動報告をさせていただきます。

平成28年度、29年度と2年間の業績が低迷していたことを受け、30年度は事業所長・主幹・主任の方々を中心として皆が危機意識を持って役割を果たし、上向きの実績が見えるようになってきた1年となりました。

その理由として、シーズンⅡとして位置づけた中村先生（元厚生労働省社会・援護局長、老健局長）の勉強会が皆の危機意識を生み出し、幹部職員のやる気を目覚めさせ、現場スタッフの意識化につながった年度でした。まだまだ十分な数字にはなっていませんが、2年間の低迷から抜け出す方向はみえてきたと確信しています。

30年度は、他業種の企業様との協働研修会、NPOとの連携した地域貢献活動など、地域商店街への参画を含め、さまざまな取組を実践してきました。これらの取組みが、人材確保や地域への認知度を向上させている側面があると感じています。

人材確保と育成は常に課題ではありますが、おかげさまで人材は集まりユニットを閉鎖することなく日常業務が行われていることをご報告します。

また、11年間続いている「実践報告会」、19年目のISO定期審査、毎年開催する夏祭りや秋祭り、20年間維持している初任者研修（2級ヘルパー講座）など継続しているさまざまな取り組みも滞りなく開催できていることも感謝申し上げます。

介護業界だけでなく、あらゆる分野での人材不足や業務遂行能力の低下などさまざまな問題が取り上げられています。時代変化のスピードと人々の生活のスピードが上手にマッチングしていない状況のなか、人が人へ行う行為としての介護は、ロボット化やAI化が最も難しい分野ではありますが、本年度は2種類のロボット5台を導入し挑戦しました。効果や有効性は2019年6月19日の実践報告会において発表する予定になっています。

「いい仲間といい仕事をする」を合言葉にして、本年度の事業報告、決算報告が出来ることに感謝致します。



特定非営利活動法人  
ケア・センターやわらぎ  
代表理事 石川 治江

## ケア・センターやわらぎのめざすもの

- 1 個人の尊厳と人権を守り、利用者の自立と社会参加への支援に邁進します。
- 2 利用者一人ひとりが、その人らしい充実した日々を過ごすに最もふさわしいサービスの調整と提供に努めます。
- 3 「地域に根ざした頼りにされる施設づくり」を目指して、法人・施設の持つ機能を最大限に活かし、地域社会への貢献に努めます。
- 4 職員が明るく爽やかに、かつ積極的に活動できるための職場環境の創造に努めます。
- 5 民間社会福祉事業者として先駆的、独自性に富んだ福祉事業の開発と、健全で活力ある経営を永続させるための経営基盤の確立に努めます。

## ケア・センターやわらぎがとりくんだこと

- 1 重度の認知症の方々の受け入れ（認知症デイサービス）
- 2 障害者（児）のホームヘルプサービス
- 3 多様なニーズを持つ在宅利用者へのホームヘルプサービス
- 4 在宅での困難ケースの受け入れ（ショートステイ）
- 5 グループホームでの看取り
- 6 デイサービスでの積極的な生活リハビリ
- 7 他機関との連携によるサービス提供
- 8 認知症予防ダンス「だんだんダンス」の啓発活動
- 9 地域の方々と一緒にお祭りの開催





## やわらぎ・立川事業所

### 事業所長から

立川駅南口に位置するケア・センターやわらぎ立川は「地域に根差した頼りになる施設づくり」を目指し、訪問介護と通所介護の2事業を行っています。スタッフ13名と46名のヘルパーさんと、元気に笑い共に歩んだ1年でした。

通所介護では、利用者主体を基本にご利用者の生きがいを共に見つけ、一人ひとりが主役になれるお手伝いをしています。「やわらぎデイ 大好き!」の声やご家族からの感謝の言葉をいただくことが、スタッフの励みとなっています。

ホームヘルプとデイサービスとの連携も、ご利用者様とご家族の安心と信頼につながっています。

運営推進会議の開催や地域の防災カフェに参加させていただくことで、各関係機関の皆さまに私たちの活動を知っていただくのと同時に、今後の活動の場を広げていきたいと考えています。

商店街主催の立川南フェスタのイベントにも参加しました。健康茶を振る舞いながらの介護相談や脳年齢テスト、デイのご利用者様も参加して「だんだんダンス」を一緒に踊ったりと、地域の方々と交流を持ち、「やわらぎ立川」のことを知っていただくきっかけとなっています。地域の方々やボランティアさんなど多くの皆さまに関わっていただき「やわらぎ立川のファン」と言ってくださる方も増えてきています。皆さまを温かくお迎えする気持ちを大切に、いつもご利用者様やご家族の気持ちに寄り添い、元気になる施設づくりを目指しています。

### ■ 訪問介護事業

営業地域 立川市・国立市  
サービス提供日 365日

### ■ 地域密着認知症対応型通所介護事業

定員 10名  
営業地域 立川市  
営業日 月～土曜日  
時間 8:30～17:30

### ■ その他

- 1 地域健康づくりグループ支援事業  
やわらぎ健康体操指導サービス事業
- 2 研修センター事業
- 3 学校介助員事業





# 1 訪問介護事業 (ホームヘルプ)

地域に根差し、喜ばれる施設づくりを目標に活動、支援してきました。立川市内を中心に、ご利用者様、ご家族様のお気持ちに寄り添い、ケアを行っています。独自のサービスにも力を入れ、有償サービスで介護保険の不足部分をカバーしたり、育児支援では、ヘルパーも赤ちゃんの笑顔に癒され、お母さん方にも大変喜ばれています。総合事業では、生活支援サポーターの登録ヘルパーとしての活動やサポーター研修への参加、研修後のボランティア受け入れなど、介護の担い手の拡大に取り組んでいます。

## (1) 事業報告

初任者研修修了（ホームヘルプ2級）または介護福祉士の資格を持った介護職員が、在宅での支援を必要とされる方々へサービスをお届けしています。

### [ホームヘルプサービス]

#### ・介護保険

生活援助：買物 調理 洗濯 掃除等  
身体介護：清拭 オムツ交換 入浴  
車いす介助 通院通所介助等

#### ・総合事業（生活支援サポーター）

生活支援：買物 調理 洗濯 掃除等

#### ・障害者総合支援

居宅介護：買物 調理 洗濯 掃除等  
入浴 通院介助  
同行援護：視覚障害者への外出介助  
重度訪問：肢体不自由の方への支援  
移動支援：各市委託による余暇活動

#### ・育児支援事業

産後の母子を対象としたサービス  
家事援助・検診同行・赤ちゃんのお世話など

#### ・有償サービス

介護保険では対応できないサービス  
病院内での介助・見守り・散歩や余暇活動等

## (2) 実績報告

[年間延べ利用時間]

	平成 29年度	平成 30年度	前年比
介護保険	8,776時間	13,334時間	151.9%
総合事業	2,005時間	2,062時間	102.8%
障害総合	6,367時間	5,987時間	94.0%
有 償	1,657時間	2,191時間	132.2%
合 計	18,805時間	23,574時間	125.4%

一人の利用者の利用回数が増加していること、介護保険の不足分を有償で補うなどで利用時間が増加しています。障害の減少については利用時間が長いことから対応できないこともありました。

## (3) 取り組んだこと、トピック

毎月ヘルパー会議を開催しています。身体介護に重点を置きスキルアップのための勉強会やヘルパー間の交流を図るための懇親会を行っています。ストレッチ体操なども行い、ヘルパーの健康維持に役立つ情報も提供しています。



介護技術勉強会



ヘルパー会議後の懇親会

地域のイベント“立川南フェスタ”に参加し、介護相談や認知症予防体操の普及に努めています。



地域のイベント“立川南フェスタ” ▶2018.9.23 ▶

## 2 通所介護事業 (デイサービス)

やわらぎ立川では、地域に密着したサービスを目指し、開かれたデイサービスを目標にしています。毎週火曜日に開催されている“はるカフェ”は、地域の方々に気軽にご参加いただき、体操や交流会など一緒に楽しめる場となっております。

ニューズレター「まんまる新聞」に毎月の行事やトピックスの写真を載せて発行し、ご家族や地域の皆さまにも好評をいただいております。また、毎月のイベント等をチラシに載せ、広報しています。

「出来ることは自分で！」を合言葉に、生活の中でも今までやってきたことを思い出していただきながら、皆で集える憩いの場を提供しています。

### (1) 事業報告

#### 1 送迎

送迎の時間帯は、ご利用者様とご家族のご希望に添い対応しています。

車いすの方も個別対応しています。

#### 2 入浴

ご利用者様の身体状況や体調確認をしておの入浴となります。入浴を拒否してこられた方へも、拒否が少なくなるよう誘導方法や介助方法も工夫しています。

#### 3 食事

高齢者専門の配食業者に委託し、ご利用者様の嚥下状態に配慮したお食事をご用意しております。

「おいしい」と毎回皆様にご好評いただいております。



#### 4 排泄

ご利用者様の排泄リズムを考慮し、その方に合った誘導や介助をしております。

### (2) 実績報告

【年間利用者延人数】

	平成 29年度	平成 30年度	前年比
介護保険	2,491名	2,252名	90.4%
総合事業	0名	0名	—
稼働率	77%	72%	93.5%
平均要介護度	2.4	2.4	—
平均年齢	83.3歳	83.8歳	—

延べ利用者数、稼働率と前年に比べ下がっています。年度後半に体調不良等で長期にお休みした利用者が数名あり、しばらく稼働率の回復ができませんでした。

### (3) 取り組んだこと、トピック

#### 【レクの様子】

毎月好評なカレンダー作りやフラワーアレンジメント、ボランティアさんの催し等楽しんで頂いております。



#### 【楽しいおでかけ♪】

高幡不動のあじさい祭りや初詣など、季節ごとに皆でおでかけしています。



#### 【避難訓練】

地域の方と消防訓練を行いました。

『はるカフェ』を毎週火曜日に定期開催し、「だんだんダンス」や軽体操を地域の方たちと一緒にやって、楽しく交流しています。





## 3 その他事業

地域の高齢者やご家族様の健康維持・増進のための健康づくり事業と、多くの皆さまに資格取得を進める介護職員初任者研修事業を行っております。また、立川市の小中学校の学校介助員事業も行いました。



### (1) 立川市地域健康づくり グループ支援事業

平成17年度から立川市の委託事業としてきた「いきいき健康づくり事業」は、その継承事業となる「地域健康づくりグループ支援事業」として、今年度で通算14年目となりました。

登録会員は500名を超え、着実に拡大し、健康体操・介護予防事業を実施してきました。

令和元年9月に立川市委託事業は終了となりますが、独自のサービスを提供していくためのスキームづくり、準備に取り組みます。

さらなる地域との関係づくり、より質の高いサービスの提供を行い、「地域に選ばれる健康体操指導」事業を目指します。



### (2) だんだんダンスと やわらぎ自主事業の取り組み

体操・だんだんダンス・防災カフェの取り組みを行い、防災についてグループの皆さんと話し合い、防災への意識を高めグループの結束を強くしていくよう取り組んでいます。



### (3) 介護職員初任者研修事業

平成25年4月より訪問介護員2級研修から「介護職員初任者研修」と名称が変わり、東京都の指定を受けて実施しています。

介護技術の習得が認定され、かつ全科目140時間履修し、筆記試験に合格された方に、厚生労働省が定める修了証明書をお渡ししました。

独自に法人内施設実習を組み入れていることが評価され、法人内外の多彩な講師の方々に支えられて継続しています。さらに、まとめや振り返りの授業、補講・再試験制度なども充実させ、仕事との両立、安心して資格取得にチャレンジできるように支援しています。就職支援キャンペーンの実施により、当法人への就労に特化しました。

\*平成30年度研修：4回開講・受講生22名



### (4) 学校介助員事業

立川市から市内の小中学校通学学級での介助員の配置及びコーディネートの委託を受け、平成30年度も引き続き実施しました。やわらぎ立川では、第二小学校・幸小学校・上砂川小学校・第三中学校・第五中学校の身体に障害を持つ児童・生徒の介助を行いました。内容は通常の授業や校内移動のサポート、課外授業（遠足・修学旅行・運動会・音楽会・スキー教室・社会科見学等）の同行介助、夏休みのプール介助等です。6名の専任介助員とコーディネーターの支援により実施しました。中学生については、自立に向けての支援の方向性を、学校、教育委員会と連携を取りながら決め、ご本人の気持ちに寄り添った形で支援を行っています。研修会では、肢体不自由児への配慮について学び、理解を深めました。



# NISHITACHIKAWA



## やわらぎホーム・西立川事業所

### 主幹から

やわらぎ西立川事業所は立川市の昭和記念公園の南側、自然豊かで見晴らしの良い場所に位置しています。ベランダからは富士山や昭和記念公園の花火大会などを見ることができます。利用者の皆様と共に移りゆく季節を感じながら過ごすことのできる良い施設です。

当事業所では今年度より新たにホームヘルプ事業を開始しグループホーム、ショートステイ、デイサービスの4事業を実施しています。

「自宅よりやわらぎで過ごしたい」、「やわらぎホームがあって本当に良かった」と思っただけの施設を目指し、家庭的できめ細かいケアの提供とレクリエーション活動の充実や利用者様と一緒に過ごす時間を増やす努力をして参りました。

平成30年度は、組織の見直しを行い従来業務の課題を分析し、記録の簡素化、ミーティング時間の見直しを図り働きやすい環境づくりの改善を進めました。また、4事業が一体となっている強みを生かして、いつでもご案内できる窓口体制を構築し迅速に対応しました。地域住民が気軽に参加できる“はるカフェ”の定期開催や積極的なボランティア・研修生の受入れも年々増加し地域にとって頼りになる福祉拠点を目指しました。

- 認知症対応型共同生活介護事業
 

定員	2ユニット 18名
営業地域	立川市（地域密着型サービス）
対象者	立川市内在住で要支援2以上
- 短期入所生活介護事業
 

定員	2ユニット 20名
営業地域	立川市、昭島市、日野市、国分寺市、国立市
営業日・時間	24時間、365日
- 通所介護事業
 

定員	23名
営業地域	立川市、昭島市
営業日・時間	月～土 8：30～17：30
- 訪問介護事業
 

営業地域	立川市・昭島市
サービス提供日	365日





# 1 認知症対応型共同生活介護事業 (認知症グループホーム)

開設から13年が経過し、入居者様の高齢化によりADLの低下が顕著にみられ、身体介護のニーズが高まっています。私たちは入居者様の一人ひとりの特性や、入所前の生活習慣を知り、家庭生活の延長としてゆったりした環境の中で、やすらぎのある生活ができるよう支援しています。また、入居者様が重度化しても、グループホームらしい生活が送れるよう、入居者様とご家族様のお話にじっくりと耳を傾け、終の棲家として希望された2名の方の看取りを行いました。

## (1) 事業報告

### 1 食事

ホーム内の厨房にて栄養士が作成した献立により提供しております。利用者様に合わせた食事形態や制限食にも対応しております。

### 2 入浴

週2回を基本に入浴を行っております。また、ご家庭での習慣に合わせて入浴回数を調整しています。個浴での対応が難しくなった利用者様には寝台型浴槽での入浴も行っております。

### 3 排泄

個々の排泄パターンに合わせ介助を行い、普段はオムツを使用されている方も可能な限りトイレで排泄できるよう支援しました。

### 4 外出・散歩

調理のための買い物やお散歩、ドライブなど外出の機会を多く設けております。外出時の危険箇所を地図にまとめ、安全に外出できるよう配慮しました。

## (2) 実績報告

	平成 29年度	平成 30年度	前年比
年間利用者 延人数	6,389名	6,330名	99.1%
稼働率	99.7%	96.3%	96.6%
平均要介護度	2.6	2.7	—
平均年齢	89.3	89.8	—

前年度に比べて、入院された方や亡くなられた方が増え、稼働率が減少しています。そのため、入院から新入居までの空床期間を極力短縮できるように関係機関と連携を密にとりました。また、市内の包括支援センターや居宅介護支援事業所、自事業所のデイサービスやショートステイご利用者様への見学や紹介を行い、待機者の確保に努めました。

## (3) 取り組んだこと、トピック

今年度はわずかな時間でも外へ出る時間を設ける一方、室内でも楽しめるおやつ作りや、立川文化祭の出展の為の作品作りを行いました。また、全体外出の企画でご家族様と一緒にお食事会に出かけることも出来ました。

日常生活の中にその方のできる活動を織り込んで、入居者様が主体的に参加できる機会を設けるように工夫いたしました。

また職員教育にも力を入れ、ユニットリーダー研修や認知症介護実践者研修の修了者を増やし、多面的に認知症利用者の関わりができるよう努めました。



お花見



スイーツパーティ



全体外出



陶芸倶楽部



町内夏祭りへの参加



ハロウィンイベント

## 2 短期入所生活介護事業 (ショートステイ)

一般型と認知症のユニットがそれぞれ10床、合計20床の全室個室ユニットケアのショートステイを行っています。どちらのユニットも定期的にご利用される方がいる中、ご家族やご本人の都合で緊急かつ長期にご利用される方も対応してきました。また病院から在宅に戻るまでの中間施設としての利用や、ご家族のレスパイトとしての利用など多様なニーズに応えながら、職員が利用者様との馴染みの関係が築けるよう、笑顔のあふれる施設を目指して参りました。

### (1) 事業報告

#### 1 食事

ホーム内の厨房にて栄養士が作成した献立により提供しております。利用者様に合わせた食事形態や制限食にも対応しております。

#### 2 入浴

基本的に週2回、個浴もしくは特殊浴槽にて入浴を行っております。ご家庭での習慣に合わせて入浴回数を調整しています。

#### 3 排泄

個々の排泄パターンに合わせ介助を行い、普段はオムツを使用されている方も可能な限りトイレで排泄できるよう支援しました。

#### 4 レクリエーション

体操や簡単なゲーム、調理、外出など職員同士が協力しながら実施しております。

### (2) 実績報告

		平成 29年度	平成 30年度	前年比
年間 利用者 延人数	要介護	4,654名	6,115名	131.3%
	要支援	44名	69名	156.8%
稼働率		80.8%	84.7%	104.8%
平均要介護度		3.2	3.3	-

平成30年度の年間利用者延人数合計は6,184名(6,115名+69名)で前年度4,698名に比べて約31%増となりました。要支援の利用者が増加し、また平均要介護度も上がったため、要介護2～3の利用者が増加しました。他のショートステイには見られないような、柔軟できめ細やかな受入体制を作ると同時に、ご家族様やケアマネージャーのニーズに迅速に応えて、今後も頼りにされるショートステイを目指します。

### (3) 取り組んだこと、トピック

前年度に引き続き、利用者様とのコミュニケーションやレクリエーションの時間を重点化しています。さらに業務面において情報共有、申し送り方法の見直しを行い職員間の連絡体制の強化を図っています。ご家族宛の記録やミニ体操の実施、リピーターの方への活動写真の添付など、日中活動の充実とご家族の満足度向上を目指した取り組みを職員一体となって行いました。

また緊急利用や医療ニーズの高い方の受入も継続的に行い、病院やケアマネージャーから“頼れるショートステイ”を目指しました。



白熱!! 節分イベント



真剣! 書道大会



餃子作り



囲碁勝負



テレビ体操



干し柿作り



# 3 通所介護事業 (デイサービス)



ご利用者様のニーズに沿った丁寧なケアと個別・小グループ活動の充実、多彩なボランティアさんや職員によるイベントなどをほぼ毎日開催し、「玉手箱デイ・地域一番店」を合言葉に活動して参りました。地域に根差したアットホームなデイサービスに重きを置き、高齢化や認知症による体力と意欲の低下を最大限に予防しつつ、お元気なご利用者様はますます元気で活発に日常生活を送ることができるサービスを目指して参りました。また、中庭での園芸活動と料理作りを一体化した“農・食一体の生活リハビリ”を目玉事業に位置づけ、楽しむ生活リハビリの実現を目指しました。

## (1) 事業報告

### 1 食事

ホーム内の厨房にて栄養士が作成した献立により提供しております。また、食レクとして中庭で収穫した野菜を使って昼食作りやおやつ作りを毎月メニューを変えて実施し、楽しんでいただきました。

### 2 入浴

利用者様の状態に合わせて介助を行いました。個浴でのマンツーマン入浴介助を基本とし、利用者様の状況によっては2人対応で行いました。

### 3 排泄

個々の排泄パターンに合わせて支援を行いました。定時誘導に加えて随時の声かけと誘導を行い、利用者様の自尊心に配慮しながら、可能な限り自立した排泄が可能となるよう援助しました。

### 4 機能訓練

ご利用者様の生活状況（ADL、IADL等）や機能訓練に対するご希望を確認し、より効果的に取り組める内容を看護師が計画し実施しました。

## (2) 実績報告

		平成 29年度	平成 30年度	前年比
年間 利用者 延人数	要介護	4,729名	4,973名	105.2%
	要支援	720名	720名	100.0%
稼働率		73.6%	79.8%	108.4%
平均要介護度		1.7	1.8	-
平均年齢		85.3	85.7	-

平成30年度の年間利用者延人数合計は5,693名(4,973+720名)で前年度5,449名に比べて約5%増となりました。写真満載の「ハッピークローバー新聞」を毎月発行し、地域や関係機関に配布し事業所を広く知ってもらおうと共に、送迎付きの無料体験見学会を日常的に実施して、気軽に施設を知ってもらえるよう努めました。

## (3) 取り組んだこと、トピック

ご利用者様のニーズに合わせ、自立度が高い方から、介助必要度が高い方まで、職員とご利用者様が活動を通して楽しみながら「デイサービスを利用する新たな目的」を作り出すことに力を注ぎました。

その中で、男性のご利用者様には、畑づくりや麻雀・囲碁等の活動を提案し、女性の利用者様には、手工芸、絵手紙、ペン習字等を行いご利用者様一人ひとりの役割や楽しみや生きがいを導き出せるように実施しました。

また、機能訓練ではマンツーマンでの歩行練習や、チューブやボールを使っての生活リハビリを実施し、利用者同士が口コミで「私もやってみたい」との声が続々と生まれています。その他、野菜を中心にした中庭での演芸活動を行い、収穫した野菜を昼食作り・おやつ作り、そして創作活動まで活用し、季節を感じながら生活の質の向上に繋がられるよう努めました。

地域貢献活動として、体操と料理教室をセットにした“はるカフェ”を毎月開催し、包括支援センターや自治会などに呼びかけ、地域に開かれたデイサービスを目指しました。



ピザ作り



菊花展外出



畑の獲れたて野菜



手芸倶楽部

## 4 訪問介護事業 (ホームヘルプ)

平成30年9月より、ホームヘルプ事業を開始いたしました。ホームヘルプ事業は、デイサービス、ショートステイ、グループホームの利用者様に顔見知りの職員がケアを行うことで安心してご利用できる環境を整えています。立川市内を中心に、ご利用者様、ご家族様のお気持ちに寄り添いケアを行い、喜ばれる施設づくりを目指し支援してまいりました。

総合事業や介護保険のサービスでは対応できない部分を有償サービスでカバーし安心できるケア提供を行ってまいりました。今後は、ヘルパー獲得にも力を入れ迅速に対応できるよう取り組んでまいります。

### (1) 事業報告

初任者研修修了（ホームヘルプ2級）または介護福祉士の資格を持った介護職員が、在宅での支援を必要とされる方々へサービスをお届けしています。

#### [ホームヘルプサービス]

##### ・介護保険

生活援助：買物 調理 洗濯 掃除等  
身体介護：清拭 オムツ交換 入浴  
車いす介助 通院通所介助等



##### ・総合事業（生活支援サポーター）

生活支援：買物 調理 洗濯 掃除等

##### ・障害者総合支援

生活支援：買物 調理 洗濯 掃除等  
身体介護：入浴 通院介助  
同行援護：視覚障害者への外出介助



##### ・有償サービス

介護保険では対応できないサービス  
病院内での介助・見守り・散歩や余暇活動等

### (2) 実績報告

【年間延べ利用時間】

	平成 29年度	平成 30年度	前年比
介護保険	—	0時間	—
総合事業	—	0時間	—
障害総合	—	35時間	—
有 償	—	0時間	—
合 計	—	35時間	—

ホームヘルプ事業を開始し、新規利用者獲得が今後の課題となっています。今年度は、認知度を高めるため営業活動を定期的に行ってまいりました。障害総合の長時間のケア依頼もあり、担い手不足で対応できないこともありましたが、ヘルパー獲得に力を注ぎ、すみやかに対応してまいります。

### (3) 取り組んだこと、トピック

#### ・新規利用者獲得のための営業活動

居宅事業所へ、毎月パンフレットと空き状況を配布し営業活動を行いました。



#### ・重度ケアへの積極的な取り組み

重度訪問介護のケアに取り組み、利用者様とご家族様の気持ちに寄り添ったケアを行いました。

#### ・利用者様のニーズを的確に把握し

##### 安心できるケア提供

ご本人の生活にどのような困り事あるか、どうすれば解消されるか、コミュニケーションを密接にとることでご本人の希望にしっかりと応えられるよう対応しました。



#### ・毎月 法人内外の勉強会に参加

スキルアップの為に勉強会や法人内のヘルパー会議・コーディネーター会議に参加し他事業所と交流を図りながら知識・技術の向上に務めました。勉強会の後は、ストレッチ体操などを行い、健康維持に役立つ情報も共有しています。





# 5 年間スケジュール・イベント

## (1) 年間イベントカレンダー

月	イベント名
4月	お花見(全体)
5月	野菜の植付け、YFS(グループホーム運営推進会議)
6月	やわらぎエンターテイメント、高幡不動紫陽花外出
7月	七夕、YFS
8月	夏祭り、流しそうめん
9月	やわらぎ秋祭り(全体)、敬老祝賀会、YFS
10月	秋の運動大会、富士見町文化祭出展
11月	秋の外出、YFS
12月	クリスマス会、石田倉庫イベント
1月	初詣、新年会、YFS
2月	節分、バレンタインデー
3月	ひな祭り、YFS

## (2) 倶楽部活動

書道、手工芸、茶道、陶芸、大正琴、麻雀などの倶楽部活動をご用意しております。先生の指導により、素敵な作品が出来上がっています。皆様の作品は正面玄関入口の展示スペースに飾っておりますので、ぜひ一度ご覧ください。

グループホーム、ショートステイ、デイサービスの皆様合同で実施しているので、いろいろな方と触れ合うことができ、好評をいただいております。



大正琴倶楽部



書道倶楽部



餃子作り



富士見町文化祭



茶道倶楽部



陶芸倶楽部



立川民謡



節分

## (3) やわらぎ秋祭り

毎年恒例、やわらぎ秋祭りの様子です。屋台のほか、よさこい、お囃子、だんだんダンスの披露など、沢山の出し物で盛り上がりました。着付けなどをはじめ、ボランティアさんの協力をたくさんいただくことが出来ました。最後は盆踊りで汗を流しました。



## (4) 行事・レクリエーションなど

季節の行事や調理、ボランティアさんによる演奏会、地域の皆様との交流など、沢山の楽しいイベントを実施しました。今年度も立川富士見町文化祭に利用者様の協力のもと、作り上げた作品を出展いたしました。

これからも皆様の笑顔を沢山引き出せるようなイベントをどしどし企画いたしますのでご期待ください。





## やわらぎ・国分寺事業所

### 主幹から

やわらぎ国分寺事業所では居宅介護事業・訪問介護事業・認知症対応型通所介護事業の3事業に加え、シルバーピアの委託管理業務を行っています。それぞれのスタッフ20名と登録ヘルパーさん30名、約50名の仲間と試行錯誤しながら歩み続けています。

平成30年度は各事業とも人員の入れ替えが多く、新しい風を巻き込みながら共に歩んだ一年でした。

昨年同様ににんじん食堂や、国分寺まつりに参加しました。にんじん食堂では国分寺産の野菜「こくベジ」を使用したメニューでの調理を、小さなこどもでも安全に包丁を使用できるようボランティアさんの協力を得て行いました。「国分寺まつりでは車椅子体験や、脳年齢チェックを行い、来場された方々とふれあう機会をもちました。

だんだんダンスの講習会は平成30年度も毎月第一土曜日に開催しました。講師には指導者の資格をもつ登録ヘルパーさんをお願いしています。

今後もこのような活動を通じて地域の方々に愛される事業所を目指していきたいと思ひます。



- **居宅介護支援事業**  
 サービス提供地域 国分寺市・国立市  
 営業日・時間 月～土  
 8：30～17：30
- **訪問介護事業**  
 サービス提供地域 国分寺市・国立市  
 営業日・時間 月～土  
 8：30～17：30
- **認知症対応型通所介護**  
 定員 12名  
 サービス提供地域 国分寺市  
 営業日・時間 月～土  
 8：30～17：30





# 1 訪問介護事業 (ホームヘルプ)



お子様からお年寄りまで安心して生活できる、地域に根ざしたサービス提供が出来るよう、支援しています。自立支援を基本に、利用者様がその人らしい生活を送れるようコーディネートしてきました。

平成26年より取り組んでいる障害者総合支援、また、国分寺市で平成28年度より開始された介護予防・日常生活支援総合事業にも取り組むことにより、様々な利用者様の多様なニーズにも対応しています。必要とされるサービスを十分に提供するため、スタッフの確保・教育にも力を入れています。

## (1) 事業報告

介護福祉士または初任者研修修了（旧ホームヘルパー2級）の資格をもった介護職員が、高齢者や障害者などご自宅でのお世話を必要とされている方々へサービスを提供します。

### 《介護保険》

- ・生活援助： 掃除 洗濯 買物 調理等
- ・身体介護： 入浴 排泄 食事 車椅子介助等

### 《総合事業》

- ・生活支援： 掃除 洗濯 買物 調理等

### 《障害者総合支援》

- ・居宅介護： ご自宅での入浴、排泄、食事等
- ・重度訪問： 重い障害のある方への総合支援
- ・同行援護： 視覚障害者の方への外出支援
- ・移動支援： 円滑に外出できる支援

### 《育児支援》

- ・産後の母子を対象に一定期間のサービス  
家事支援、育児支援

### 《有償サービス》

- ・介護保険外のサービス
- ・病院内での見守り、介助等
- ・家事援助・身体介護



## (3) 取り組んだこと、トピック

### 《ヘルパー教育》

定期的で開催されるヘルパー会議では、緊急時の対応について取り組みました。立川防災館を訪問し、AEDの操作方法、心臓マッサージ等について指導を受けました。より安心できるケアの提供を目指し、座学での研修も行いました。



立川防災館での研修



### 《ヘルパー獲得》

事務所のウィンドウの掲示を一新し、さっそく問い合わせがありました。市内のイベントにおいてヘルパー募集のチラシ配布も行い、5名の新規ヘルパーの登録がありました。



## (2) 実績報告

【年間延べ利用時間】

	平成 29年度	平成 30年度	前年比
介護保険	6,786時間	7,844時間	115.6%
総合事業	2,237時間	2,019時間	90.3%
障害総合	3,196時間	3,381時間	105.8%
有 償	696時間	518時間	74.4%
合 計	12,915時間	13,762時間	106.6%

## 2 認知症対応型通所介護事業 (デイサービス)

やわらぎ国分寺では、国分寺市唯一の単独型認知症対応型通所介護事業所として活動してきました。地域に密着したサービスの提供を目指し、利用者様だけでなく地域の方にも気軽に参加していただける開かれたデイサービスを目指してきました。

今年度は地域のボランティアグループの訪問を積極的に受け入れられました。音楽を通しての交流のほか、犬とふれあうアニマルセラピー、アロマオイルを使用したハンドセラピーや社交ダンス、フラダンスや、銭太鼓など。ボランティアさんを通して地域の方々との交流の機会を多く持つことができました。

デイサービスの活動の場を屋外に広げ、外食ランチを楽しむ機会を定期的に開催しました。



### (1) 事業報告

国分寺市内在住の要介護1から要介護5までの高齢者の方が通われるデイサービス事業所です。

地域密着型で何らかの認知症状のある方が通われています。

#### 《ご利用時間》

- ・ 3時間～4時間 (短時間でも入浴・食事付き)
- ・ 4時間～5時間   ・ 5時間～6時間
- ・ 6時間～7時間   ・ 7時間～8時間

#### 《入浴》

- ・ ご家庭の浴室同様のお一人様専用のお風呂です。
- ・ 入浴の回数は相談に応じます。
- ・ 身体的に介助が必要な方には安全に入浴出来るよう介助します。

#### 《食事》

- ・ 栄養バランスのとれたお食事を温めてお出しします。日によっては職員や利用者様と共同の手作り昼食を提供します。

#### 《機能訓練》

- ・ 言語聴覚士が状態にあわせてリハビリを行います。

### (2) 実績報告

【年間利用者延人数】

	平成 29年度	平成 30年度	前年比
介護保険	2,380名	2,078名	87.3%
総合事業	0名	0名	—
稼働率	64.0%	56.4%	88.1%
平均要介護度	2.2	2.3	—
平均年齢	86歳	86歳	—

### (3) 取り組んだこと、トピック

#### 《地域の方との交流》

・ ボランティアグループを積極的に受け入れました。犬たちとの触れ合いは、ご利用者様のみならず、職員にとっても癒されるひと時でした。

#### 《脳トレーニング》

・ 来所され、皆さんがお集まりになるまでの少しの時間を自習時間とし、脳トレーニングの時間にしました。間違いさがしやクロスワードパズル、皆さん真剣に取り組まれます。

#### 《手作りランチ》

・ 主婦歴の長いご利用者様たちです。認知症だからといって包丁が使えなくなるわけではありません。職員と協力し、毎月おいしいランチを作りました。

#### 《四季折々の外出・外食に出掛けました》

・ 近所には自然いっぱいの姿見の池があり、鴨の親子や桜、鯉の様子が楽しめました。外食ランチは普段なかなか外食の機会の少ないご利用者様にとって大きな楽しみとなっています。『何にしようかしら?』メニューを決める時の表情はとてもキラキラ輝いています。









## やわらぎ・阿佐谷事業所

### 事業所長から

平成29年4月に杉並区成田東に開設した住宅街の少し高台に建つ1戸建てでログハウス調の建物です。庭もあり季節の花や野菜を植えて楽しんでいます。平成29年9月1日より杉並区地域密着型通所介護（定員10名）を開所し活動を開始しました。認知症などで大規模施設では対応が難しい方が、ゆったりした環境と個別対応で落ち着いて過ごしていただいています。地域のどのようなニーズにも応えています。

また、阿佐谷事業所は当法人の新しい事業、企画の拠点として活動しています。世代を越えた地域交流の場として社会、地域のニーズに応じていくために新しいことに取り組んできました。

認知症予防「だんだんダンス」の拠点として活動してきました。「だんだんダンス」は医学的な知見と介護現場の経験から当法人が独自に開発したダンスです。定期的にインストラクター講習を開催し、自治体、企業、介護施設など全国的に活動範囲も広がっています。

#### 攻めの予防！虐待予防推進事業

～育児にあそびと余裕を 命が健やかに育つ社会へ～

をテーマに社会問題となっている児童虐待を予防していく取り組みをしてきました。具体的には独自に制作、発行した絵本「あそぼ あっぷっぷ」を使用してワークショップを開催し、顔の見える関係を地域に作り、社会からの孤立をなくし虐待予防に取り組みはじめました。

#### ■ 地域密着型通所介護

定員 10名  
サービス提供地域 杉並区全域  
営業日・時間 月曜日～土曜日  
8：30～17：30

#### ■ だんだんカフェ

開催日時 毎月第4土曜日  
13：30～15：30  
参加費 無料

#### ■ キッズカフェ・阿佐谷

定員 20名  
開催日時 毎月第3土曜日  
11：00～14：00  
参加費 無料（中学生まで）  
大人300円





# 1 地域密着型通所介護事業 (デイサービス)

平成29年9月にオープンし2年目を迎えました。昼食外出や近隣の神社仏閣や公共施設、買い物などが好評です。また多彩な手工芸作品が利用者様やご家族に喜ばれ、より完成度の高い作品が沢山出来上がっています。

やわらぎ阿佐谷の得意なこと！！

- ①要支援の方でも入浴OK (週2回まで)
- ②少人数ならではの個別対応
- ③野菜づくりやお花を楽しめる広い畑
- ④インストラクターによる「認知症予防ダンス・だんだんダンス」のレッスン
- ⑤外出レク・外食レクなど豊富なメニューのレクリエーション

## (1) 事業報告

杉並区在住の要支援・要介護状態の高齢者の方が通われるデイサービス事業所です。地域密着型で定員10名と少人数。徹底した個別対応ができます。

### 《ご利用時間》

- ・基本時間 7時間～8時間  
(短時間も可能。入浴・食事付き)

### 《入浴》

- ・ご家庭の浴室同様のお一人様専用のお風呂です。
- ・身体的に介助が必要な方には安全に入浴出来るよう介助します。

### 《食事》

- ・栄養バランスのとれたお食事を温めてお出しします。日によって、職員や利用者様と共同の手作り昼食を提供します。



## (2) 実績報告

【年間利用者延人数】

	平成29年度	平成30年度	前年比
介護保険	154名	1,097名	712.3%
総合事業	66名	52名	78.8%
稼働率	12.0%	31.0%	258.3%
平均要介護度	1.6	1.9	—
平均年齢	85.1歳	85.7歳	—

※平成29年度は9月から3月までの7ヶ月間



## (3) 取り組んだこと、トピック

### 《地域の方との交流》

・毎週月曜に地域の方が遊びに来てくれます。お茶を飲みながら談笑されたり、だんだんダンスに取り組まれたりと、利用者様と一緒に楽しい時間を過ごされます。

### 《少人数だからできること》

・善福寺川の桜、須賀神社の夏祭り、大田黒公園の銀杏、神明宮への初詣など阿佐谷の季節を楽しんでいます。またレストラン、お寿司屋さん、喫茶店などへの外食や、春・秋頃の手作りのお弁当の外出も好評です。



### 《一緒に野菜やお花を育てましょう！》

・根菜から葉物まで色々な無農薬野菜作り、お花やハーブのガーデニングにチャレンジしています。収穫した野菜で作った餃子やお好み焼きの美味しさは絶品です。

・トマトやキュウリなどの夏野菜、ジャガイモや大根などの根菜類も収穫！

・収穫野菜をその場で調理して一緒に食べるのも楽しいです。



## 2 事業企画部

### (認知症予防「だんだんダンス」/子はたからプロジェクト)

平成26年にやわらぎ独自で開発した「認知症予防だんだんダンス」は5年目に入り、昨年から拠点となった杉並区阿佐ヶ谷でも認知度をあげてきました。通常のダンス講座に加え、健康づくりとコミュニティづくりを目的とした体操レク講座も開催しています。また「子はたから」プロジェクト（児童虐待予防推進事業）は、絵本の制作に本格的に取り組みました。

#### (1) 事業報告

##### 「だんだんダンス」事業の3つの骨組み

- ①講座開催（たのしいクラス・もっとたのしいクラス・せんせいクラス）  
今までの初級・中級・上級を一新し、ダンスや体操の経験がない方も、さらに気軽に受講できるようになりました。
- ②DVDとCDのセット販売  
社会起業出版とも提携し、DVDとCDのセットの販売を継続しています。
- ③デモンストレーション  
各地でのデモンストレーションを行っております。

##### 「子はたから」プロジェクト事業

- ①児童虐待予防絵本「あそぼシリーズ」  
「あっぷっぷ」・「やったあ」・「みてみて」の3冊が完成致しました。絵本セットとして付録と共に販売をスタート致しました。

#### (2) 実績報告

##### ◆ダンス講座の開催

健康生きがい学会会員による受講をはじめ、笑いヨガ他高齢者向け体操を行いたい方の需要が増えてきました。徳島、岡山、新潟等各地から参加して頂きました。

・初級・中級受講者	12名
・上級講座受講者	6名

※H30年度単年実績。2016/9以降受講者62名  
※2019/3現在の認定インストラクター数：19名

##### ◆イベント開催

西武信用金庫の助成金を受けての「だんだんカフェ」の実施（2018年8月まで）100歳万歳イベントの自主開催を2月に実施致しました。

##### ◆子はたからワークショップ

絵本を利用した子はたからワークショップを2月に開催致しました。

#### (3) 新規取り組み（体操レク・絵本）

##### ①だんだんダンス

体操レク・ダンスレクなどの取り組みを開始致しました。認知症予防だけではなく、介護施設でのレクレーションとして活用する方法です。介護だけではなく様々な業界・分野で活用して頂く方法を見出していきます。

##### ②子はたからプロジェクト

絵本「あっぷっぷ」・「やったあ」・「みてみて」の3冊と付録付きのセットが完成致しました。あわせてHPも完成し本年度より本格的に活動を開始致しました。今後は絵本を使用したワークショップを行いコミュニティづくりを促進していく予定です。

だんだんダンス講座・体操レク講座の様子



子はたからワークショップの様子



DVD・CDのセット

絵本3冊セット  
「あっぷっぷ」「やったあ」「みてみて」







## 法人本部

### 事務局から

介護業界はさまざまな制度の改正、競合他社の増加、利用者様のニーズの多様化など、目まぐるしく変化を続けています。そのような中で、法人本部として「何が出来るか」、「何をすべきか」、「何を必要とされているか」を常に考えて行動していきたいと考えております。各事業所・各事業所長・各職員の皆さんを「縁の下の力持ち」として精一杯支えていきます。

また、認知症予防「だんだんダンス」・「児童虐待予防推進事業」をはじめとする新規事業につきましても、本部としてサポートを続けていきます。

やわらぎの職員一人ひとりが笑顔で元気に働き、お互いに「良い仲間」となれるように、本部としての務めを果たしていきます。

最後に、毎年のごとですが、多くの業務を抱える中、無事に年度末を越えることができ、職員の皆様のご協力に感謝しています。

### 【管理業務】

- **総務・広報**  
理事会運営、会議運営、勉強会の開催、文書管理、契約書・申請書等の作成、ホームページ管理、広報
- **労務・人事**  
給与計算、人事労務管理、職員採用、社会保険手続き、証明書等の発行
- **経理・会計**  
支払業務、決算書・試算表の作成、本部・各事業所の小口現金管理
- **請求業務**  
国保連請求、利用者負担金請求書・領収書の発送、未収金管理



## (1) 理事会等の運営

日付	理事会	総会	議案
平成30年 5月31日	第57回	第20回	【議決事項】 第1号議案 平成29年度事業報告(案)について 第2号議案 平成29年度決算報告(案)について 第3号議案 定款の変更について
平成30年 11月22日	第58回	臨時	【議決事項】 第1号議案 「やわらぎ阿佐谷」の事業譲渡について 第2号議案 「やわらぎ阿佐谷」の事業廃止について 第3号議案 特別代理人の選任・退任について 第4号議案 特定非営利活動法人ケア・センター やわらぎ経理規程の一部変更について 第5号議案 特定非営利活動法人ケア・センター やわらぎ法人カード利用取扱規程の 制定について  【報告事項】 1 ホームヘルパー給与規程別表の一部変更について
平成31年 3月28日	第59回	臨時	【議決事項】 第1号議案 平成31年度事業計画(案)について 第2号議案 平成31年度活動予算(案)について 第3号議案 介護福祉士実務者研修の実施について 第4号議案 就業規則、準職員就業規則、ホーム ヘルパー就業規則、医師就業規則の 一部改正について 第5号議案 退職金規程の一部改正について  【報告事項】 1 給与規程別表、準職員給与規程別表の一部変更について

## (2) 総務・広報

- ① ISO部会を中心に年間会議スケジュールを作成し、全体会や役職毎・職種毎の定例会議を開催しました。定例会議では、介護保険制度の改正や市場環境の変化に機敏に対応しうる職員の勉強会等の開催、また教育訓練部会が中心となって、外部講師を招いた研修会を実施しました。
- ② 第12回を迎えた実践報告会は、実践テーマ・内容・発表技術などがいずれも進歩しており、総評をお願いしている外部の先生からも高い評価をいただきました。
- ③ 福祉サービス事業者として守るべき法・規範・倫理などを正しく理解し、法令を順守した事業展開をサポートしました。
- ④ 視察やメディア等の取材、調査研究等のインタビュー等を積極的に受入れ、法人認知度を高めるための情報発信に努めました。
- ⑤ ホームページをリニューアルし、より多くの方々にアクセスしてもらえるように努めました。

## (3) 経理・会計、請求業務

### ① 会計処理

前年度に引き続き、会計事務所の協力により、会計業務全般のサポート及びコンサルティングを受けながら、業務内容を処理し遅滞無く行うことができました。

### ② 介護保険請求

各事業所と国保連合会への請求について連携を図り、遅滞無く請求を行うことができました。

### ③ 利用者請求

利用者様からの未収金を管理し、漏れることなく請求を行うことができました。

## (4) 労務・人事

- ① 優秀な人材の確保を行うための定期昇給手続きのほか、法人全体の適正な人員配置を維持するために必要に応じて職員の求人活動及び採用等を行い、人材の確保に努めました。
- ② 職員の健康管理のために、日勤者は年1回、夜勤者は年2回の健康診断及び全職員・ヘルパーを対象とした検便検査を実施しました。
- ③ 前年度と同様に「ストレスチェック」を実施しました。衛生委員会と連携を取り、産業医の先生のご協力をいただいて、職員の精神面の支援に取り組みました。



4月全体会の様子



12月全体会(懇親会)の様子



# 特定非営利活動法人ケア・センターやわらぎ 職種別人員一覧

事業所	区分	平成30年3月31日現在			平成31年3月31日現在			増減		
		常勤職員	非常勤職員	合計	常勤職員	非常勤職員	合計	常勤職員	非常勤職員	合計
やわらぎ立川	サービス提供責任者	0	2	2	0	2	2	0	0	0
	介護職	2	8	10	2	5	7	0	-3	-3
	ドライバー職	0	1	1	0	2	2	0	1	1
	事務職	0	1	1	0	1	1	0	0	0
	職員小計	2	12	14	2	10	12	0	-2	-2
	ヘルパー	0	58	58	0	61	61	0	3	3
	事業所計	2	70	72	2	71	73	0	1	1
やわらぎ西立川	サービス提供責任者	0	0	0	1	0	1	1	0	1
	介護職	21	20	41	21	22	43	0	2	2
	看護職	1	3	4	0	3	3	-1	0	-1
	生活相談員	1	0	1	1	1	2	0	1	1
	管理栄養士	1	0	1	1	0	1	0	0	0
	ドライバー職	0	1	1	0	1	1	0	0	0
	用務員	0	1	1	0	1	1	0	0	0
	職員小計	24	25	49	24	28	52	0	3	3
	ヘルパー	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	事業所計	24	25	49	24	28	52	0	3	3
やわらぎ国分寺	サービス提供責任者	1	0	1	2	1	3	1	1	2
	介護職	1	11	12	2	9	11	1	-2	-1
	介護支援専門員	1	6	7	2	6	8	1	0	1
	言語聴覚士	0	1	1	0	1	1	0	0	0
	ドライバー職	0	1	1	0	2	2	0	1	1
	事務職	0	1	1	0	1	1	0	0	0
	職員小計	3	20	23	6	20	26	3	0	3
	ヘルパー	0	33	33	0	30	30	0	-3	-3
	事業所計	3	53	56	6	50	56	3	-3	0
やわらぎ阿佐谷	介護職	0	2	2	0	3	3	0	1	1
	事業所計	0	2	2	0	3	3	0	1	1
法人本部	事務職	3	1	4	4	0	4	1	-1	0
	事業所計	3	1	4	4	0	4	1	-1	0
職員合計		32	60	92	36	61	97	4	1	5
ヘルパー合計		0	91	91	0	91	91	0	0	0
総合計		32	151	183	36	152	188	4	1	5

※介護職員は、グループホーム・ショートステイ・デイサービスの介護職員及び訪問介護のコーディネーターを指す。

※複数職種の兼務者は、事業所内で兼務している職種のいずれかに配分した。

## 特定非営利活動法人ケア・センターやわらぎ

- やわらぎ・立川事業所（研修センター）  
〒190-0022 東京都立川市錦町2-6-23 小川ビル1階（2階）  
TEL：042-523-3463 FAX：042-523-6842
- やわらぎホーム・西立川事業所  
〒190-0013 東京都立川市富士見町2-31-23  
TEL：042-526-2207 FAX：042-526-2208
- やわらぎ・国分寺事業所  
〒185-0012 東京都国分寺市本町4-1-2 エスポール花澤台1階  
TEL：042-327-0417 FAX：042-327-0415
- やわらぎ・阿佐谷事業所  
〒166-0015 東京都杉並区成田東5-30-7  
TEL・FAX：03-5397-8030
- ケア・センターやわらぎ 法人本部  
〒190-0013 東京都立川市富士見町2-31-23  
TEL：042-526-2217 FAX：042-526-2208  
E-mail：honbu-1@yawaragi.or.jp  
<http://www.yawaragi.or.jp/>